

美 園 人

be a **GOOD** neighbor !

April
2019
vol.

08

みそのびと

美園に広がる、
新しい「未来」。

取材特集

「ユニクス浦和美園」
徹底紹介！

浦和美園4丁目公園にて

2019年4月から

発行は年2回に変更となります!

詳しくは、編集後記 (p.14) にて

vol.

08

美園人

be a GOOD neighbor!

CONTENTS

SPECIAL — 新しい「未来」特集 —

- 04 行ってきました!
「美園トークスタジオM'18-19season」
- 06 今、知りたい! 美園の学校TOPICS
～美園の「未来」をつくる、子どもたち～
- 08 「ユニクス浦和美園」の過去、現在、そして未来
～発展しつづける美園とともに～
- 10 オープンから祝2年!
地域に愛される「ユニクス浦和美園」を徹底レポート!

be a GOOD neighbor! — 「美園人」の横顔 —

- 12 美園とわたし
～この人に聞きたい、美園との出会い～
- 13 「美園人」×「みそのいち」
出店者のみなさんに聞く「お店のとおきをおきを教えてください!」
第4回「shocomo(ショコモ)」さんの巻

QUESTION — 「美園人」に聞きました —

- 14 だから美園が好き。その理由を教えてください。

INFORMATION — お知らせ —

- 15 番外編! 『美園人』地域サポーター通信



暮らしていても気づかない、ひとつひとつのまちの変化。

未来に向かって走りつづける美園の、
新しいもの・ひと・ことをまとめました。

美園は、また新しい春を迎えます。

be a GOOD neighbor!

行ってきました！ 「美園トークスタジアム'18-19season」

現在、美園地区ではUDCMiを拠点に、まちの成長や発展を推進するさまざまなプロジェクトが進められています。そんななかで今回は、美園地区で行われた、各事業の進捗報告会に行ってきました。その様子をご紹介します！



地区の開発とともに姿を変えていく美園地区は、より住民目線を意識した次のステージへと移行しようとしています。「埼玉スタジアム2002」が会場にもなっている「東京オリンピック・パラリンピック」をひかえ、まちはさらなる発展をつづけています。

今回参加した「美園トークスタジアム'18-19season」では、取り上げた各事業の概要や進捗状況が説明されたあと、5つのグループに分かれて意見交換。そして最後に、グループごとで全体に向けて発表を行いました。会場は和やかな雰囲気でありながら、一方では想いのこもった意見が交わされ、参加者の関心の高さが感じられました。

「美園トークスタジアム'18-19season」とは？

「一方通行」な報告会ではなく、参加者同士で立場を超えて、まちの改善点やまちづくりアイデアを意見交換できる場として企画されたまちづくり進捗報告・意見交換会です。今回は、河川空間・地区内交通・街並み形成・駅前活性化・健康増進の5つをテーマに行われました。

まちづくり進捗報告・意見交換会 「美園トークスタジアム'18-19season」

日時：2019年1月19日(土) 10:00～12:00
場所：埼玉りそな銀行浦和美園出張所 2Fセミナールーム
主催：美園タウンマネジメント協会、
みその都市デザイン協議会
企画運営：(一社)美園タウンマネジメント、さいたま市

／ 今回のテーマはこの5つ! ／

みんなで広げる、美園の未来の可能性

グループディスカッションでは率直な疑問や、色々な方の色々な想いが意見として交わされました。なかには、あまり一般には知られていないイベント会場ならではの裏話も。その一部をご紹介します。

1 河川空間



綾瀬川沿いの遊歩道の整備や調節池の活用方法について議論を展開。「調節池はアーバンスポーツなどができるイベント会場にしたらどうか」「そこで得た収益はどのようにまちに還元するのか」など、活発な意見交換がありました。

2 地区内交通



日常とサッカー試合の開催日、それぞれの交通環境について議論。駐車(輪)場の集約化やシャトルバス優先走行実験など、まちの交通ビジョン整理に向けた意見交換が行われました。

3 街並み形成



美園地区独自の街並みデザインガイドラインを作成中。参加者からは、「子どもたちがずっと住みつけたいと思えるようなまちにしたい」「まちの玄関口である駅前空間をもっときれいにしたい!」などの意見も。

4 駅前活性化



計画中の“スタジアムなまち”づくり案をもとに、「人の活動の場づくり」について議論。外の人から「駅前には何も無い」といわれるなどの課題をあげ、住民が駅前にどのような機能を求めているのかについて解決に向けた話し合いがされていました。

5 健康増進



「ポイントのためではなく、自分の健康のため」という意識の改革や、実際にプログラムの参加を経て、体の変化を実感できる仕組みづくりが重要だという本質的な意見も。

／ 詳しいイベントレポートはこちら ／

今回は美園の未来を形づくるさまざまな取り組みを紹介しました。実は、このほかにも紹介しきれないほどたくさんの意見が。当日の詳しいイベントレポートはUDCMiのHPをご覧ください!

2019.01.22 活動レポート

【開催報告】1月19日 まちづくり進捗報告・意見交換会「美園トークスタジアム'18-19season」



今、知りたい！美園の学校TOPICS

～美園の「未来」をつくる、子どもたち～

2019年は新しい小・中学校と、4つの保育園が誕生し、美園のまちはさらに変わっていきます。今回はその情報をいち早くご紹介します。



\\ その1：子どもの学びを支える新しい小・中学校が誕生 //



所在地：さいたま市緑区美園2-12-11
電話番号：048-812-2277

さいたま市立美園北小学校

通学区域は、さいたま市緑区美園1～4丁目。隣接する大門・野田・新和小学校の通学区域の一部からも選択できます。敷地は「東京ドーム」の約半分ほど。3階建ての校舎には、地域交流室や放課後児童クラブも併設。校庭がとても広く、なんとナイター照明設備も完備。子どもたちがのびのびと生活できそうです。

知りたい特徴

- 1 廊下と教室の仕切りがガラスばり
- 2 昇降口から3階までつながる大きな階段

さいたま市立美園南中学校

主に「美園小学校」と「大門小学校」に通う児童が進学予定。三角形の敷地と校庭が特徴となっています。PTAや自治会、こども会などの活動で地域のひとが利用できる地域交流室も併設されるので、地域との連携もばっちりです。

知りたい特徴

- 1 昇降口や広場をおおう大屋根
- 2 体育館を囲う水平ルーバー



所在地：さいたま市緑区美園6-15
電話番号：048-878-3511

\\ その2: 新たに4つ! 子どもたちを見守る保育園 //

子育てファミリーが増えている美園では、子どもを育てる環境づくりもどんどん進んでいます。今回は2019年4月開園の保育園におじゃまし、新園の特徴についてお話を伺ってきました。

遍照浦和美園保育園



保育園からのヒトコト:

天井が高く、開放感のある園内や一汁三菜のおいしい給食、「生きる力の基礎を培う」心やさしい保育が特徴です。療育の資格をもつ先生もいるので、つまづきをもったお子さんの保育も目指しています。

所在地:さいたま市緑区美園3-10-16
電話番号:048-940-3037

きらりつばさ保育園



保育園からのヒトコト:

近くに系列の保育園が2つあるので、3園合同で遠足にでかけることもあります。また、あまり干渉せず、子どもたちが「どうしたいのか」「どうすべきなのか」をしっかりと自分で考えられるような保育を目指しています。

所在地:さいたま市緑区美園3-29-4
電話番号:048-711-1808

ステラさいたま 大門保育園



保育園からのヒトコト:

ソーラーパネルや全面芝生ばりの園庭、福祉先進国といわれる北欧の安全な遊具など、環境や子どもにやさしい保育園を目指しています。今後は、「大門小学校」など地域とのつながりも大切にしていきたいと思っています。

所在地:さいたま市緑区大門1223
電話番号:048-762-8282

保育園大きなぞうさん



保育園からのヒトコト:

“ぞうさんの「やさしさ」と「温かさ」を子どもたちに”が園名の由来です。専門講師による「ダンスの時間」などもあり、楽しさいっぱいの保育内容です。園外の公園にも積極的に遊びに行き、子どもたちの「満たされた心と体」を育てています。

所在地:さいたま市緑区美園6-7-18
電話番号:048-876-1008



さいたま市 子ども未来局
保育部 保育課
管理栄養士 福島 雅子さん

保育施設での食事は、子どもの発育・発達を支える基盤であるとともに、望ましい「食・生活習慣の形成」を図る大きな役割もっています。さいたま市では子どもたちが食事を通してさまざまな体験を積み重ね、食を楽しむ、食を営む力を培えるように支援しています。

「ユニクス浦和美園」の過去、現在、そして未来 ～発展しつづける美園とともに～

「ユニクス浦和美園」は、埼玉県を中心に関東地方で展開されている近隣型商業施設「ユニクス」の11店舗目として2017(平成29)年3月にオープン。「UNICUS」という言葉には、ラテン語で“オンリーワン、唯一の”という意味があり、施設のオリジナリティを大切にしながらも、地域に必要とされる存在でありたいという想いが込められています。今回は、「ユニクス浦和美園」がこのまちにやってくる以前から現在、そして未来への展望まで、施設のご担当として尽力されてきた山本さんと上村さんにお話を伺いました。

職場でも家でもない、
第三の居場所として。



お話を聞いた人

株式会社ビーアンドディコンサルティング
開発事業本部 山本 喬さん

ユニクス浦和美園 管理事務所
支配人 上村 正勝さん

このまちの未来が見えた、だからこそ一緒に。

Q:「ユニクス浦和美園」がこのまちにオープンするまでの背景を教えてください。

山本さん:美園に出店を考えはじめたのはいまから8年ほど前。当時はいまと比べて住宅がなく、道路も整備されていないような場所でした。ですが、このまちは「みそのウイングシティ」として大規模な開発が行われていたことや、始発駅である「浦和美園」駅が都内の主要駅とまちをつないでいたこと、そして自然豊かな住環境など、このまちには将来的に多くのひとが集まり、発展していくのだろうというまちの未来が見え、出店を決めました。わたしたちも美園とともに成長していきたいと。

地域とのつながりを密に。地域に愛される施設へ。

Q:「ユニクス浦和美園」の特徴を教えてください。

山本さん:“近隣型”商業施設として、屋外を歩いてお店を見てまわる「オープンモール」となっています。テナントには食品スーパーをはじめ、ドラッグストアや書店、クリーニング店、カフェなど。なかでも、美園ならではの特徴としては、子育て世代が多いことから音楽教室や体操教室などの習いごとが充実しているところですね。

上村さん:定期的に地域の方が参加できるイベントも開催しています。先日は、「新和小学校」の児童の絵を展示したり、社会科見学などに来ていただいたり。また、オープン2周年のイベントでは、地域の子供たちが参加できる「巨大めり絵」を主催しました。

山本さん:このように地域と密につながるができるのも、常に「ユニクス」には支配人が常駐し、地域と連携をとっているからこそだと思います。



「巨大めり絵」の様子



美園とともに歩む、新しい未来

Q:“これから”の「ユニクス浦和美園」について教えてください。

上村さん:今後もさらに地域とのつながりを深めていきたいです。地元の学校の音楽イベントを開催したり、地元の農家さんのお野菜を販売させていただいたり、挑戦したいことはたくさんあります。美園にある「ユニクス」として、このまちの特徴を取り入れ、オリジナリティのある施設としてこのまちの成長に貢献できたらうれしいです。

山本さん:やはり“選ばれる”施設になれるよう、1人でも多くのファンを増やしていきたいです。ほかの商業施設とも“競合”ではなく“共存”し、一緒にまちを盛り上げていきたい。また、職場でもなく、自宅でもない、新しい第三の居場所として地域の方にもっと気軽に来ていただけたらすごくうれしいです。

「ユニクス」のテーマカラーである黄緑色は、“新緑の若葉”をあらわし、これから成長していく美園と共通するものを感じています。だからこそ、わたしたちはこのまちで愛される施設になれるよう、これからもともに歩んでいきたいのです。



Read More

「ユニクス浦和美園」の詳しい施設情報は、次のページをチェック！

オープンから祝2年！ 地域に愛される「ウニクス浦和美園」を徹底レポート！

美園に暮らす多くの家庭を支える「ウニクス浦和美園」には、日常生活に密着したお店が多く入っています。スーパーマーケットをはじめ、書店、ドラッグストア、100円均一ショップなど“近くにあるとうれしい”お店が充実。今回は実際に足をはこび、「ウニクス浦和美園」の魅力をチェックしてきました。



食生活提案型スーパーマーケット「ヤオコー」。毎日の食卓を彩るさまざまな食材がたくさん！

1階と2階に約20店舗が入る「ウニクス浦和美園」。1階の半分を占めるのが、地域住民の暮らしを支えるスーパー「ヤオコー」。光が差し込む清潔感のある店内には、種類豊富な食材がずらりとならんでいます。



「ヤオコー」の右手側には「くまざわ書店」が。新刊や実用書、子ども向け絵本も豊富！ノートや文房具なども販売しています。



「くまざわ書店」のとなりに、日用品や化粧品、衣料品がそろう「マツモトキヨシ」もあります。



クリーニング店「La Blanche(ラ・ブランシュ)」。スーツや大切な服はここできれいに！



0才から小・中学生までの子ども向け英会話教室「ベネッセの英語教室 BE studio」。全国に約1700拠点あり、無料体験レッスンも受けられます。



「タリーズコーヒー」には店内に大型モニターが設置され、「浦和レッズ」の試合をリアルタイムで観戦できます。これぞまさに美国ならではの設備。「浦和レッズ」とコラボした限定メニューも!



さらに、「タリーズコーヒー」では、子ども向けの絵本がおいである「TULLY'S みその文庫」を発見! 子育てファミリーの多い美園にはうれしいやさしさです。



「タリーズコーヒー」に隣接している「浦和レッズ サテライトショップ」では、「浦和レッズ」のオフィシャルグッズを販売していて、ファン必見のスポットになっています。



身近にあると便利な100円均一ショップ「ザ・ダイソー」。日常のちょっとした小物はここでゲット♪

そのほかにも、2階には「ヤマハ音楽・英語教室」や「Clubネイス体操教室」など子どもの習いごと教室があったり、ホットヨガスタジオ「BLEDA(ブレダ)」や美容院「hacchi」などママ向けのお店もあります。“近くにあるとうれしい”をぎゅっとあつめた「ユニクス浦和美園」。ぜひ、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

＼ 「ユニクス浦和美園」のイイところ /



- 「浦和美園」駅から車で5分! 225台収容の駐車場も完備
- 定期的に地域イベントを開催。住民同士のコミュニティ形成の場としても機能
- 「浦和レッズ」のオフィシャルショップや「タリーズコーヒー」とコラボした限定メニューを販売

DATA

「ユニクス浦和美園」

所在地: 埼玉県さいたま市岩槻区美園東2-17-13

電話番号: 048-747-5294

営業時間: 店舗により異なる

美園とわたし

～この人に聞きたい、美園との出会い～

美園に想いを寄せるみなさんに、まちとの関わりやこれからのことについてお話を伺いました。

第4回は、美園で「子育てシェア」のママサポーターとして活動されている手塚 可奈子さんの登場です。

※子育てシェア…顔見知り同士で頼り合いながら安心・安全に子育てをするサービス(運営:株式会社AsMama)

都内で暮らしながら、新居を探していたときにたまたま美園のことを知り、その後何度も足を運びました。すると次第に、このまちのきれいな青空や豊かな田園風景、都内へのアクセス性などに惹かれるようになり、引っ越しを決意しました。現在は、「子育てシェア」のママサポーターとして活動しています。「子育てシェア」は仕事として報酬を得られることや、活動を通して地域と接点があることが魅力ですね。「いますぐ子どもをみてもらいたい」と困っているママさんも多くいらっちゃって、そんなときに気がねなく助け合えたらと思っています。まだ活動を始めたばかりですが、今後はより楽しみながら参加していきたいです。

PROFILE

手塚 可奈子

兵庫県出身。1年前に美園に引っ越し、3歳のお子さんと旦那さんの3人で暮らしている。イオンでたまたま参加した「AsMama」のイベントにて、はじめて「子育てシェア」について知り、「困っている人の手助けができるなら」と参加を決意。現在はお子さんと一緒にママサポーターとして活動中。



ママサポーター限定のアズママTシャツ。3歳のりんちゃんもいつも一緒に活動に参加しています。

3月2日に「イオンモール浦和美園」で行われた「子育て応援フェア」の様子。役立つ子育て情報をキャッチしたり、地域のママさんと交流することも。



美^茶人 × 「みそのいち」

出店者のみなさんに聞く「お店のとおきを教えてください！」

第4回

「shocomo (シヨコモ)」さんの巻

今回は、最近「みそのいち」に初出店された「shocomo」さんにおじゃまして、こだわりの商品や「みそのいち」への想いについて、オーナーの高橋 千春さんにお話を伺いました。

カフェをオープンさせるのが私の夢でした。「shocomo」という店名は、私の飼っているトイプードルの「ショコラ」と「モカ」からとったもの。今回「みそのいち」へ出店するようになったのは、以前から地域活性化に興味があったことや、自慢のコッペパンを1人でも多くの方に味わってもらいたいという気持ちからでした。「みそのいち」では、いつもは店舗で販売していない限定商品も用意しているので、ぜひお試しください！



こだわりの「shocomo」のコッペパン。お食事系やスイーツ系など種類も豊富！(上写真)
トイプードルをモチーフにした可愛らしい焼菓子も発見！(下写真)

「みそのいち」に
ぜひ来てください！

スタッフ 高橋 飛さん



shocomo

オーナー 高橋 千春

スタッフ 高橋 飛

飲食店や洋菓子店を経て、2018(平成30)年1月に念願だったカフェ「shocomo」を越谷市にオープン。素材だけでなく製造過程にもこだわり、商品は一つ一つ丁寧に手づくりしたものを販売。1周年を迎えたいま、さらに地域に愛されるお店を目指し、日々奮闘中。

所在地:越谷市宮本町5-1 植竹荘 1F

電話番号:048-945-4403

営業時間:11:30~18:00

「shocomo」のこだわり

その1

生地づくりから手がけるコッペパンは、ふわふわでモチモチとした食感が特徴です。子どもでも安心して食べられるよう、できる限り無添加の材料を使用し、安心・安全を追求しています。

その2

コーヒーの資格をもつ高橋 千春さんによるハンドドリップコーヒーが人気！お店のオリジナルブレンド豆も販売しています。

だから美園が好き。その理由を教えてください。

『美国人』第8号にご協力いただいた方々に、美園についての質問にお答えいただきました。みなさんの「美園愛」あふれる回答に注目です。

Q: 美園についての想い、好きなところを教えてください。



手塚 可奈子さん
(p.12参照)

A: 公園が多く、そこから眺める空が大きくて広いというのは良いですね。都内で暮らしていたときと比べると、精神的にもかなり余裕が生まれたように感じます。また、始発駅なので通勤時間帯でも座ることができることも良いです。これからの美園に期待することは、横断歩道の充実と、駅前にカフェができることですね。

A: 越谷に住んでいる私から見ると、美園は本当にいろんな可能性にあふれたまちだと思っています。逆に言うと、良いものを活かしてないところもあるような気がして、なんだかもったいない!と感じることも。でもそれだけ期待されているまちなかかもしれません。これからは、“サッカーのまち”だけではない新しい美園に出会えたらいいなと思っています。



高橋 飛さん
(p.13参照)



ウニクス浦和美園
山本さん 上村さん
(p.08参照)

A: 成長過程のまちならではなかもしれませんが、このまちはとても明るくくられた印象があります。駅前周辺はもちろん、まちにある建物は新しく、道路もきれいに整備されていて、空はとても広い。これからさらに開発されていくというその将来性もあり、本当に多くの魅力が詰まったまちだと思います。

美園人

みそのびと

編集後記

『美国人』第8号、いかがでしたでしょうか。
新しいもの、新しいひと、新しいこと。そのすべてがここに集まり、これからの美園をつくっている。今回は、そんなまちの姿取材しました。2019年4月以降の美園の変化にも大注目です。ここで1つ、みなさまにお知らせです。季刊誌として年に4回発行してきた『美国人』ですが、2019年度からは年に2回の発行に変更となります。しかし、ご心配はいりません! 2019年度からは「美国人」web版がリニューアルし、よりリアルタイムの情報を発信できるようになります。ぜひ、お楽しみに。(編集部)

地元暮らしながら、『美園人』編集部の一員である「地域サポーター」。美園の魅力を伝え、美園を元気にする、まちの「インフルエンサー」ともいえます。今回は、前号でご紹介した新メンバーの活動の様子をFacebook投稿のなかから一部ご紹介します。



地域サポーター
小谷 祐子さん

この度地域サポーターになりました小谷です。昨日はサポーターミーティングのあと、月1恒例の「みそのいち」へ。またまたいろいろ買い込みました。ヨーロッパの野菜やおいしいフルーツも地産地消でいただけるって最高！ラビたま駅長にも会えましたし、新しいトイレも見学してきましたよ一笑。どんどん進化する「浦和美園」駅にも注目です！



こんにちは、サポーターの宮崎です。冬の晴れた日には冠雪した「富士山」が100キロ離れた美園からもぞめます。いちおしは「コバトンの森」で、山のすその付近まで見ることができ、とても大きく感じます。また、国土交通省の「関東富士見百景」には「見沼たんぼ」が認定されています。富士山ライブカメラでチェックしてから、ぜひかけてみてはいかがでしょうか。



地域サポーター
宮崎 道雄さん

小谷さん、宮崎さんありがとうございました。
今後も『美園人』は、まちの声に耳を傾けていきます。(編集部)



× みその出版

『美園人』はwebでもご覧いただけます。 <http://misonobito.jp/>

ここから、はじまる。「美しき園」、「美しき人」。『美園人』web版では、PCやスマホ・タブレットなどで、冊子でご紹介しきれなかった取材のこぼれ話やオフショット、美園でこれから行われるイベント情報などをご覧いただくことができます。随時更新中です。最新の情報はこちらから。

